

国鉄改革完遂！
当たり前の労働運動
を前進させよう！

J R
東海労

静岡

J R東海労働組合静岡地方本部
静岡市葵区黒金町 68
NTT 054-284-3608
FAX 054-283-6365
発行責任者 山本繁明
2015年3月31日 No. 40

浜岡原発・安全協定の素案提示

UPZ 市町と県・中電幹部と初会合

中部電力浜岡原発(御前崎市佐倉)から、おおむね半径 31 キロ圏内の緊急防護措置区域「UPZ」にある、7市町(磐田・袋井・島田・藤枝・焼津市・森・吉田町)と県の担当者が 27 日、藤枝市内で中電幹部と初めて会合を開き、中電との安全協定締結に向けた素案を示しました。

関係者によると会合は非公式で行われ、7市町と県の間で固まった協定案を、中電静岡支店原子力グループ幹部に説明したそうです。協定案の内容について、同日中に中電側からの言及はありませんでした。次回の担当者レベルの会合では、中電側から何らかの意見を述べる見通しです。

7市町はこれまでに、県と地元4市(御前崎・牧之原・掛川・菊川市)が中電と結ぶ協定に準じて原子炉施設の設置・変更などを行う場合、事前に地元自治体に通報し協議するとの規程を定めた、実施的な事前了解の担保を求めることを表明しています。県も、7市町で合意した協定案を尊重する姿勢を示しています。しかし、協定案の具体的な内容は明らかにされていません。

**7市町と県は、安全協定締結ではなく
「廃炉」を中電に申し入れろ！！**